

テレビでスリランカのことが放映されると、友人たちからメールや電話で「見てる？ 今スリランカやってるよ」と、私に連絡が入る。スリランカが私の代名詞のようになって久しい。僧侶の袈裟きあさの着衣法を調査するため、師匠の中村晋也夫妻と弟子2人、合わせて4人で初め

ドのアシヨカ王の息子マヒンダが来島して仏教を伝えたと聞かされている。その後、仏教は現在まで脈々とスリランカの人々の精神的支柱として受け継がれてきた。国のあちこちに古刹こせきや遺跡が点在し、いにしえの工人たちの手になる造形物が静かに魅力を放っていた。

そんな中、スリランカのキャンラニヤ大学に、06年から1年間滞在する機会を得、大学内の簡素な住居に住むことになった。屋根続きの隣には、スリランカ人の教授家族と犬がいた。着任して間もないある明け方、天井の上から物騒な物音がして飛び起きた。ガサガサツ、バタバタ、コトコト、キューン。猫ではない。大蛇かしら？ 得体の知らない動物の気配に恐れおののいた。おそらく隣人も聞いているはずだと、早速尋ねてみた。すると、「タラゴヤだろう」と言う。タラゴヤ？ ある日、私は屋根からゆっくり柱伝いに降りてくる「タラゴヤ」らしき生物を見た。ワニ？ いや巨大なトカゲだった。体長1尺以上のオオトカゲ。しばらくの間タラゴヤはわが家の屋根からいなくなりましたが、その後、部屋にネズミが出没して困った。多くの珍しい動物と遭遇した。カメレオン、空を飛んでいる孔雀。「ラーマヤナ」に登場するハヌマーンハヌマーンのモデルとされるラングールという猿。ワクワク、ドキドキの1年だった。

私のスリランカ

て回国を訪れたのは2000年の9月だった。資料が集まればそれで済むはずだったが、仏教遺跡や独特の雰囲気を持つ仏像、そして極楽浄土を思わせる風景に魅了されて、私のスリランカ通いが始まった。

この地に仏教が伝来したのは、紀元前3世紀のこと。イン

素な住居に住むことになった。屋根続きの隣には、スリランカ人の教授家族と犬がいた。着任して間もないある明け方、天井の上から物騒な物音がして飛び起きた。ガサガサツ、バタバタ、コトコト、キューン。猫ではない。大蛇かしら？ 得体の知らない動物の気配に恐れおののいた。おそらく隣人も聞いているはずだと、早速尋ねてみた。すると、「タラゴヤだろう」と言う。タラゴヤ？ ある日、私は屋根からゆっくり柱伝いに降りてくる「タラゴヤ」らしき生物を見た。ワニ？ いや巨大なトカゲだった。体長1尺以上のオオトカゲ。しばらくの間タラゴヤはわが家の屋根からいなくなりましたが、その後、部屋にネズミが出没して困った。多くの珍しい動物と遭遇した。カメレオン、空を飛んでいる孔雀。「ラーマヤナ」に登場するハヌマーンハヌマーンのモデルとされるラングールという猿。ワクワク、ドキドキの1年だった。